



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク

会報第19号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2004年1月1日号, No.19

第19号の目次

- 1、2004年新年挨拶 (2004.1.1) ...2003年度代表
井上哲也
- 2、災害ボランティア養成講座レポート(2003.8.19)
...板倉慶隆
...後藤猛
- 3、北海道ツーリング記録(2003.8.10-19)
...矢代幸雄
- 4、忘年会報告 (2003.12.14) ...太田隆行
編集後記

2004年を迎えて

2004.1.1

2003年度代表 井上哲也



神奈川R.Bが発足し、5年が経過しました。震災時活動に限らずボランティアという活動に対し素人だった我々は、常に暗中模索の日々でした。しかし5年以上(設立までの準備期間を含めると7年以上)、継続しているということは、我々をとても勇気付ける様に思え

ます。ひとつの実績とも考えられます。

さて、昨年度を振り返ると、八都県市総合防災訓練への参加が最も大きなイベントの一つでした。開催日が月曜日であったにも関わらず16名という大勢のメンバーの参加が実現しました。参加者のほとんどがサラリーマンであり平日に休暇を取得することが困難であることを含んで考えてみても、メンバー各自の持つ震災時活動へのモチベーションが活動7年を経過した今も変わらないことが理解できました。このことは今後も我々が神奈川R.Bの活動を続けていく上でとても心強く感じます。

また、今回の訓練で我々が担当した内容は、千葉県トラック協会により千葉県から厚木防災センターへ運ばれた救援物資を、今回の訓練のメイン会場である相模原市・淵野辺公園まで我々がオートバイで運搬するといったものでした。訓練自体は物資搬送という任務でしたが任務遂行の外側を見ると、大人数での行動の方法、効率的に隊を分割する方法、移動時の安全の確保、また他の団体との連携と言った、任務を遂行するための基盤の部分が円滑に行えました。これらは目立ちにくい部分かとは思いますが、長年の活動で培った我々の大きな実力だと評価します。

この様にイベント一つへの参加を取り上げて考えてみても、我々の実力は自分たちが意識している以上に日々向上していると理解できません。仮に今年災害が発生しても、個々の基本能力に加えてそれらを活用することである程度レベルの高い支援活動は実現できると想像します。今後もこの様な我々の実力をより伸ばし、実践的な能力についても継続的に高めていきたいと思えます。そのため、本年度も積極的にミーティングやイベントに参加して下さる様、お願い致します。

災害ボランティア養成講座レポート.1

板倉 慶隆

藤沢市では今年5月に「藤沢災害救援ボランティアネットワーク(FSV)」が設立されました。その会員でもありR.Bのメンバーでもある板倉さんにレポートして頂きました。(お)

板倉さん



さる2003年11月15日、22日の二週に跨り、災害ボランティア養成講座が開催された。以下はそのまとめです。

開催日 2003年11月15日
、22日両日ともAM10時~PM5時まで

場所は藤沢市総合防災センターで行われました。

参加者は64名(藤沢市、平塚市、相模原市、鎌倉市、秦野市他)と盛況でした。内容

11/15

1.吉村恭二氏によるセミナー

「今ボランティアネットワークに求められているもの」

・災害地では想像以上に多様なニーズがある。臨機応変な対応が必要であるがボランティアを指揮するコーディネータが不足している。

・自助・互助・公助。 Tear(相手に共感する気持ち)、Talk(話し合い)、Time(時間をかける)の3Tが大切。

2.藤沢市の防災対策

・地震のP波をいち早くキャッチし、遅れて来るS波(主要動)の到達時間(数秒~数十秒)、震度等を予測するシステムの紹介。たまたま説明の最中に仙台沖で地震が発生したが、大画面には瞬時に日本地図と今伝わっている地震波位置、藤沢市の震度が表示された。藤沢市と筑波の防災科学技術研究所の共同システムです。

3.災害弱者の支援

血液透析患者の立場からの訴えについて腎友会からの報告等がありました。

11 / 22

1. 図上訓練

KRBのメンバーでも以前横浜のサポートセンター体験したことの有るDIG訓練でした。今回は、地域の地図を見ながら、災害救援センターを何処に設置するかが課題でした。いろんな意見が出ましたが、意外だったのは、携帯電話が使えるから安心だ！ と思っている人が多くいたことです。

中級講座が12 / 6, 7 同じく藤沢総合防災センターで開催されます。

後記.

藤沢市では本年(5 / 31)「藤沢災害救援ボランティアネットワーク(FSV)」が設立されました。

災害ボランティア養成講座レポート. 2

後藤 猛

同じく大和でも11月1 - 2日に渡り災害ボランティア養成講座が開かれました。こちらは後藤さんのレポートです。(お)

後藤さん



さる11月1日、2日と「災害ボランティアコーディネーター養成講座中級編」が「えびな市民活動サポートセンター」で行われました。神奈川R.Bからは古賀さん、坂本さん、後藤の3名が参加致しました。開催前には参加人数の不足さえ心配されましたが、当日には定員を上回る41名が集まり、年齢構成も中学生から上は60代後半と思われる方までバラエティに富み、大変盛況な講座でした。講座内容もゲーム感覚の実技や、実際のコーディネーター業務を想定したトレーニングなど様々なもので、決して「聞くだけ」の講義ではなく、2日間の講座があったという間に過ぎた感じがします。講演では、実際に阪神大震災で活動されたYMCAの大江さんや、龍谷大学の筒井さんのお話は修羅場を超えてきた方ならではの真に迫るとも興味深いもので、まるで自分があの現場にいるかのような臨場感さえ感じました。特に心に残った言葉は、大江さんの「理解とはunder / stand=人の下に立つこと。」

筒井さんの「ボランティアのやる気と被災者には温度差がある。」そして、お二人とも「ボランティアをする側の心のケアの大事さ」を強調されていました。目から鱗ですね。ともすればやる気が空回りし、支援という名の押し付けをやってしまいそうだが、ボランティアに一番必要なことはなにか？ 改めて考えさせられました。このことは、ボランティア活動だけに言えることではなく、日ごろの人間関係でもとても大事なことですよね。我々は近い人のことでも、本当に理解しているのでしょうか？ 相手を見下していないでしょうか？ 自分を大事にしているのでしょうか？ 全ての人が少しでもこの事を思えばこの国、この世界はもっと良くなるのに。そんな事を考えさせらる講座でもありました。今回1回限りの講座で、実際にボランティアのコーディネートができるとは全く思いませんが、今後の活動に望む気持ちが変わることは確かだと思います。今回の講座はそんなきっかけになるものだと思います。

す。
後記

1 つ心配事があります。今回の講座では、若い方も参加されていましたが、中心は50代後半で、これはボラ活動全体に若年層が不足していることも意味していると思います。阪神・淡路大震災から長年が経ち、防災意識も薄らいでいるのでは？ と危惧しております。災害は忘れた頃に来ます。必ず。

会員から

北海道ツーリングレポート

2003.8.11 - 19

矢代 幸雄

8月10日府中試験場での警視庁夏期バイクスクールが終わって指導員の方々の「おみやげはカニでいいから」の注文をかわしつつそそくさと帰宅……。 「こち亀&ワンピース」を見てうだうだした後自宅発11日0:10自宅を出発した。



北海道上陸初日は新得駅前無料ライダーズハウスへ。99年にテントだった無料ライダーズハウスは無料のままだが格上げされてプレバブになっていました。宿泊はしていません、駅そばのついでに寄

ってみただけです。新得駅そばは麺に独特の味があり、また食べたくなる。今回は天玉にしたが麺を味わう為には、かけそばがおすすめです。

新得からは帯広へ。「レストラン・ランチョエルパン」へ。今回このオムライスが食べたかったのですがどうにも開店時間に早すぎるために断念しました。次回は夕張にでも立ち寄りて時間調整か？そして浦幌へ。昆布刈石ダート7.5KmはオンロードでもOKの締まったダートです。日本じゃないみたいな道で西側ではダートに沿った別の舗装道路工事が行われていた。舗装道路が出来てもダートの方を通行止めにしたいでほしいなどとオフ車乗りじゃないのにオフ車乗りみたいな事を思わせ



てしまうこの道って一体何なのだろう？

道道1038では海沿いの道ひとりじめ出来ます。昆布刈石ダートとセットでどうぞ。ゴリラの横顔のような岩が「昆布刈石」らしいがゴリ

ラ岩と呼ぶほうがぴったりだと思うのはわたしだけか？そして釧路湿原・細岡展望台へ。途中の道はギリギリまで水が迫っていて少しでも増水すると通行止めになりそう。実際コッタ口湿原へはR391を曲がって踏切を渡ったとたんに道路が水没していて通行止めでした。



そして厚岸へ。「食事処・和ちゃん」17時～のこのお店の「カキフライ定食1350円」はカキ一つひとつがでかい。値段にも納得。観光客っぽい人は誰もいなかった。この日宿泊は釧路なので夕飯の為だけに100Km走ってしまった。(笑)

翌日はピリカウタ展望台から。地図には180°展望の記号のみで名称なし、場所愛冠岬の東、床瓢漁港手前郵便局左折、本当にこの道でいいのだろうか？と思った先に見えてくる変わった形の展望台。道道123では親子らしき鹿が5匹ほど道路に飛び出してきた。10秒程早かったらぶつかったかも。「すいてても注意注意！」そして「琵琶瀬展望台」霧多布湿原を一望できる展望台。霧多布岬手前左駐車場一番奥の売店での「いもだんご200円」うまい！

「小松牛乳100円」も濃くてなかなか。ところで革の手袋はカラスにねられるので注意。そして別海新酪農村展望台。ここは鉄骨むき出しの展望台。隙間だらけで下が丸見えの為思わず足がすくみます。私以外に誰も来なかったし誰も通りません。牛はたくさんいるけど人が全然居ない。

昼食は中標津・回転寿司屋さん「すしロード」ライダーにはサーモン寿司1皿サービス！すぐ混むので11時の開店と同時に入るのがおすすめです。ライダーサービス品は度々替わるようです。昼食後は野付半島へ。



トドワラ・ナラワラが有名だけどライダーにとってはこの道路自体がおすすめ。それから、羅臼ひかりごけ洞窟へ。珍しいひかりごけ群生地です。自分で光るのではなく光を反射する仕組みらしい。

フラッシュ撮影で角度が丁度いいときれいに撮れます。その後はセセキ温泉へ。ラウス昆布販売店の個人所有温泉。注意事項＝「一声かけること。」志を忘れないこと。満潮になると水没してしまいます。そして相泊へ。相泊は道道736の終点ではなく起点なのです。



その後、国設羅臼野営場&熊ノ湯へ赴く。キャンプ場の反対側に無料の男女別露天風呂有り。女性用は囲いがきちんとしているので安心して入れるようです。??

露天風呂では珍しく石鯨使用可能です。

そして宇登呂見晴橋へ。知床センターから宇登呂に向かっていきなり視界が開けたところにあり宇登呂の街・宇登呂港が一望できます。



さて、宿泊のボンスホームは男女別相部屋のいわゆる「とほ宿」です。ポテトグラタンと自家製ケーキがおいしかった。レストランもやっている所以で食事だけでもOKです。愛犬ソラがかわいい。希望すれば散歩もOKとのこと。今日の湯浴みは「夕陽台の湯」18時以前は混んでいるが18時過ぎると洗い場の待ちが無くなるくらいに空いてくる。報告済みだが01年には露天の湯に鹿がやってきた。翌朝は「?ガメラ岩?」へ。斜里から宇登呂に向かって見えてくる。逆向きの

時はバックミラーで確認できる。



時はバックミラーで確認できる。

夕日台の湯

続いて「北浜駅」喫茶「停車場」を併設する駅です。到着時刻は開店前だった。ホーム脇には展望台有り。続いて「藻琴駅」へ。ここも喫茶

「トロッコ」を併設する駅でした。同じく到着時刻は開店前。先を急いで「能取湖」へ。廃船・朽ち果てたトラック・使わなくなった番屋等があり情緒的、ただし蚊が多いので虫除けスプレーは必要です。途中、オンロードでもOKのダートがありました。そして「川湯温泉駅」へ、ここでやっと「軽食喫茶オーチャードグラス」へ入る。おいしいピーフシチューが1350円でした。11時の開店直後が狙い目です。18時までの営業のはずだったが、ハンバーグカレーを食べに17:30に行ったらすでに閉まっていました。

「神の子池」こんな青い池の水見た事ない。

藻琴駅



はっきり言ってオンネトーよりきれい。摩周湖の伏流水だそうです。途中、オンロードでもOKのダート2Kmほどあり。「裏摩周展望台」は南下時、スノーシェルター手前右折です。駐車場は狭く

バスが入れないので団体の観光客は来ないがバイクは多かった。湖内の小島(カムイッシュ島)は湖底から200mもあるそうです。湖面に出ている部分だけだとアポロチョコみたいだけど…。「硫黄山」は2輪駐車料金100円(半券で摩周第1駐車可能)でした。レストハウス内売店のソフトクリームがあっさりした味でおいしい。しかしながら、温泉たまご売りの親父の音がうるさい。「商売熱心といえなくもないが……。」それから「津別峠」途中交差する林道の奥に鹿を発見し撮影したが、遠すぎて画像では判らなかつた。上につれて霧が立ちこめて展望台に着いたころには下界はすっかり見えなくなっていた。晴れていれば美幌峠よりいい展望だそうです。宿泊は「ライダーズハウス・ぼんと」屈斜路湖畔にありレストランを併設している。ライダーズハウスとなっているが部屋は2Fの畳の部屋できれい、素泊まり1000円は安い！どちらかという「とほ宿」と言う感じです。宿泊者のしつけには厳しい。私も、もちろん怒られました。食堂から宿泊部屋に通じる扉をきちんと閉めないで厨房換気扇の風圧で開いてしまうらしい。

「美幌峠」の観光地化されている峠の駐車場、この電源は自家発電のために電話も売店の閉店後は使えなくなると言う。張り紙を見るためにやってきたが…無かつた。

さて温泉について少々。「コタンの湯」は毎日清掃されるきれいな露天風呂でした。



「つつじの湯」は川湯温泉駅前の公衆浴場で200円は安い。泉質は炭酸水素塩泉です。「川湯共同浴場」は川湯温泉街で郵便局の裏手にあり道路から一段下がっている。泉質は硫黄泉です。

「多和平」は育成牧場(若い牛たちの寮みたいな所)の中にある展望台

で個人的には開陽台より景色がいいと思う。キャンプ場隣接です。「阿寒湖アイヌ民芸店」坂の両脇にお店が並びよい雰囲気を出している。坂の頂上にはふくろうのとまった鳥居があり

更にその上に無料2輪駐輪場がある。「オンネトー」はバスが入ってくるのはオンネトー展望台北登り口まで。その先の、南登り口にはバスは来ないのでゆっくり見られる。「ただ、神の子池を見た後だとねえ...」見通しの悪いコーナーもあり道幅狭く観光バスも通るので慎重に走りましょう。「オンネトーダート」は国道に戻らずそのまま西に向かう途中5Km程のダートでした。オンロードでもOK。ただし一部砂利が深いところも有るので「砧」の砂利道が難なくこなせるなら大丈夫でしょう。



足寄方面からオンネトーに向かう際に国道ではなく間違えてこのダートに入り込んでしまう人も多らしい。道路沿いの牧場に牛がいる。でも何か違う！

なんと柵がない！北海道らしさを感じる。「足寄駅前・大阪や食堂」は99年にお世話になった。食事をすれば宿泊は無料のライダーズハウスを併設している。ちょっと遅い朝食にチキンライス700円を食す。今回は宿泊しなかったが足寄駅前再開発の話があり訪問した明日に立ち退きに関する説明会があるらしいがその後どうなったのだろうか？気になります。そして「道の駅足寄湖チーズ工房」に立ち寄り。試食のチーズがおいしい。ごちそうさまでした。「上土幌町鉄道資料館」こぢんまりとした資料館でした。説明好きなお客だと思っていたら館長だった。鉄道好きな私には結構楽しめました。帯広から十勝三ツ股までの車窓映像上映有り。

「三股山荘 軽食喫茶」は旧土幌線の終着駅だった十勝三股駅周辺で2軒残った内の1軒。畑のランチ(ジャガイモ・サラダ・ソーセージ) & ミルクがおいしい。山荘と言っても宿泊は出来ませんので注意。店内に旧土幌線十勝三股駅の鉄道模型有り。ご主人の趣味らしい。県別来店者は神奈川が一番多いらしい。他県のお客さんが居る中で言っていたので本当だと思いますけど...



「旭川・常磐公園」は車止めを越えて科学館脇の駐輪場に駐輪可(無料)。土手から見ると向こう岸の建物など日本じゃないみたい

「美瑛・松の湯」は美瑛で2軒だけの銭湯だ。新しくてきれい。食事は「美瑛・そば一源」で。知り合いから「そば屋なのに味噌ラーメンが美味しい」と旭川・豊岡の同名のお店を進められたが食事の時間にあらず断念していたのだ。同じ名前だったので暖簾をくぐってみたがここのご主人は先日まで豊岡店を切り盛りしていたとのこと。ラッキー！味噌ラーメンは美味かった。

「ライダーズハウス・クレッセ」神奈川県大和市出身の佐藤オーナーが97年に深山峠にオープンしたライダーズハウスで夜は各自持ち寄りオーナーハウスのリビングで宴会！！2匹のシベリアンハスキーが愛嬌たっぷりコンピニ袋の音に反応して(餌と思っらしい)寄ってくる。要予約、全室ベッド1500円。ライダーズハウスは六角形です。「美馬牛駅」周辺には元ライダーズハウス・美馬ホーム跡がある。99年に訪れたが00年オーナーが交通事故で亡くなられた。一時、別の方がラ

イダーハウスを引き継いだそうだが今は営業されていない様子。建物の一部はそのままだったが夢と希望を描いた看板はもう無い。そして「美馬牛小学校」とんがり屋根が有名な小学校で正門前に見学者用の駐車場がある。さて、美瑛には有名な「木」と「丘」がたくさんありますねえ。そして「富良野駅前三日月食堂」へ魚のだしが効いた醤油ラーメン600えん。近所のおばちゃんたちがお手伝いしています。「富良野駅前福寿司」ジャンボにぎり並900円。撮影時に大きさが判るようにたばこの箱を貸してくれた。しゃりを少な目に握ってもらうことも出来るそうです。場所は判らない人が多いそうです。駅前のトヨタレンタを覗くと奥に福寿司の看板が見えます。

「富良野チーズ工房」試食有り、チーズパイは購入しました。「ニングルテラス」は新富良野プリンスホテル駐車場脇で妖精の棲む森の中の雑貨屋と言う感じのお店が10軒ほどある。夜は遊歩道がライトアップされてなかなかいい雰囲気らしい。そこの「ろくごう売店」既製品だが結構美味しい。ラベンダーソフトクリーム200円。



そして「三笠鉄道記念館」へ。三笠鉄道村と言う標識に吸い寄せられて訪れたが閉館直後だったために館内には入れず。

「交通安全パレード」北海道警女性白バイ小隊ノースウイングスの先導にて札幌市内をパレードしていた。「札幌市内・回転寿司とつぴーR230川沿店」こちらメタのかい回転寿司屋。いわしなんか口に入れただけでとろけてしまうくらいにおいしかった。ねぎとろも具が山盛り。最終日の宿泊地小樽。「小樽のスーパー・シガ」地元の住民のためのスーパーマーケットです。コンビニとスーパーマーケットが並んでいたとしたら迷わずスーパーの方に入る私。時間によっては総菜半額がねらいめ。ご飯・すじこ・ホタテ・うにを格安でゲット。やしろ流・小樽勝手丼の出来上がり。翌日は帰るだけ。



「小樽港を出港」
「また来るね北海道。」
自宅到着は19日10時20分でした。

神奈川RB忘年会レポート

2003.12.14

太田 隆行



12月14日(日)運営ミーティングの後、有志による忘年会が行われました。

師走の日曜日にも関わらず井上代表以下8名(井上、神林、山田、村井、手塚、池田

、河内、太田)の参加がありました。バイクの話、災害の話に始まって仕事から家庭の話題に至るまで少人数だけに深い話が出来ました。

神奈川RBの設立の経緯など、普段はあまり聞かない話も聞けたりして楽しいひと時を過ごしました。また、来年もこういった機会を増やして行こうと思っています。

【その他のイベント】

運営ミーティング 11/9、12/14

ボランティアのための救護法研修会・10月、11月、12月

・ ・ ! ! お知らせ ! ! ・ ・

神奈川RB携帯電話用サイト開設中

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode/J-sky/EZweb の各形式対応)

編集後記

2004年が明けました。昨年は出勤回数も少なく訓練中心の一年でした。そのせいか皆が集まる機会も少なかったように思います。個人的には楽しみにしていたツーリングも官憲の関係から??チャンスを逃したり、仕事の忙しさにかまけて会報発送が遅れたり皆様にはご迷惑をお掛けしました。今年はいよいよ高速道路二人乗りが解禁になりそうです。バイクの楽しさ、魅力を伝えるチャンスが増えてきます。また、四輪車の方々との旅行も一緒に楽しめるようになります。さて今年も心機一転、バイク乗りを楽しむ一年にしようと思います。今回投稿していただいた矢代さんのように、夏には北海道ツーリングに出かけようかと画策しています。皆さん今年と一緒にツーリングに行きましょう。(お)

神奈川RB事務局

代表:井上哲也、事務局長:手塚則生

郵送先:〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax:045-312-1862(取次ぎ:レターケース No.81 宛て)

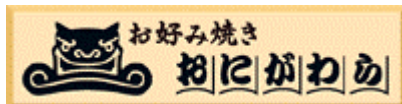
URL: <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者:神奈川RB会報担当 太田隆行

神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行きましょう!



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

店主:中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンドハケ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30(火・水定休、祝日は営業)

上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00(火・水定休)

おにがわら 冬季休業日は1月13日~3月19日です。

確認の上お出かけください。